

# 乙姫城



妻木城址の会

事務局 〒509-53  
岐阜県土岐市妻木町3051-1  
八幡神社社務所内  
TEL.0572-57-6441

## 講演会のお知らせ

来る六月二十二日(土)に  
「妻木城址の会」「美濃源氏  
フォーラム」共催にて講演会  
が行われます。

講師は岐阜県及び愛知県中  
世城館分布調査員の高田徹先  
生です。

高田先生は東濃地方の山城  
にも造詣が深く、高田先生の  
論文「森氏の東美濃支配と城  
郭」は、東濃地方の山城をほ  
とんど網羅されています。

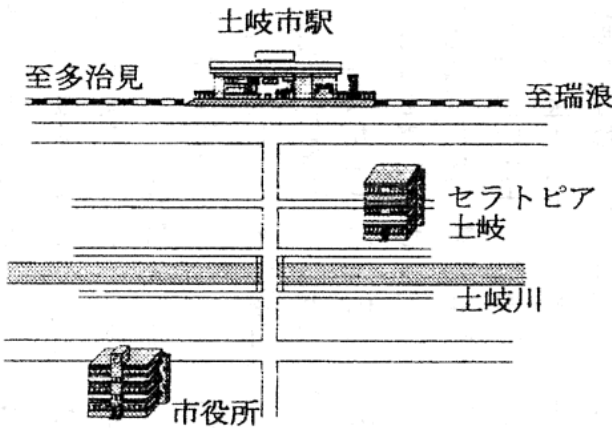
講演では戦国時代から江戸  
時代初期の妻木城や小里城、  
鶴ヶ城などについての研究成  
果をご紹介いただけたと思っ  
ます。

期日 六月二十二日(土)

午後三時より五時まで

## 会場 セラトピア土岐

会員の方は同封の入場整理  
券をご持参下さい。  
一般の方は七百円です。



## 下刈り作業のお願い

下草刈り作業を左記の日程  
にて実施しますので、会員の  
皆様の参加をお願いいたしま  
す。

期日 六月三十日(日)

午前九時より(午前中)

集合 妻木城御殿跡看板前

カマ、ノコギリ、軍手等を  
ご持参下さい。

雨天の場合は七月七日に順  
延となります。



## 妻木頼保と大仏殿再建

奈良大仏へは多くの方が一度は訪れたことがあると思います。しかし、その大仏殿の再建や修理に妻木氏が深く関わっていた事をご存じの方は少ないと思います。

江戸時代の大仏殿再建という国家的な大事業の責任者として活躍した奈良奉行妻木彦右衛門頼保は、完成目前に病死し奈良の地に埋葬されています。そして今年には妻木頼保の奈良奉行就任より三百年目にあたります。

また妻木氏一族では、明治の建築家として著名な妻木頼黄も大仏殿修理に関わっています。

## 東大寺大仏殿のこと

西暦七五二年に開眼供養した東大寺の大仏は、八五五年には頭部が落下し修復され、一一八〇年には平氏により東大寺の建物のほとんど焼か

れ、後に再建されました。また一五六七年には三好、松永氏によって再び大仏殿は焼失しました。その後再建工事は進まず、一二〇年間大仏は野ざらしのままでした。

貞享四年（一六八七）に大仏殿再建の勸進の許可が江戸幕府からおり、まず元禄四年（一六九一）に大仏の頭部の改鑄や修復工事が終わり、元禄五年（一六九二）九月に開眼供養が行われました。続いて大仏殿の再建工事が始まり、宝永六年（一七〇九）に落慶法要が行われました。現存する大仏殿はこの時の建物です。

## 妻木頼保のこと

妻木頼保は下郷妻木氏三千石（妻木村下郷・可児郡内他を領す）の三代目です。父頼熊は長崎奉行を勤めた後、寛文二年（一六六二）より勤定奉行を勤め、寛文七年（一六六七）に焼失した東大寺の二月堂の再建に

尽力します。母は信州上田城の真田昌幸の娘です。

寛政家譜より頼保の経歴を記すと、土佐への検使役、信州高遠城の受け取り役とともに高遠の民政を司り、また長州藩毛利氏の当主が幼少であったのでその監督役を勤めています。

## 奈良奉行妻木頼保のこと

奈良奉行は奈良の寺社及び市中を治める役職です。元禄九年（一六九六）四月に妻木頼保は奈良奉行に任命されます。この時初めて二名に増員され、妻木頼保は大仏殿再建工事の総責任者となりました。

妻木頼保が任命されたのは、東大寺の公慶上人が天平時代の創建当時の規模である十一間の大仏殿の建立を希望したのに対して、江戸幕府は財政状況により七間の大きさを条件としました。幕府案を東大寺側に納得させるために任命されたのが妻木

頼保でした。これは妻木頼保の行政手腕と、父頼熊の二月堂再建への尽力による東大寺との関係が理由として考えられます。

妻木頼保のはたらきにより元禄九年七月工事が始まり、工事は順調に進みました。しかし、宝永四年（一七〇七）六月八日に妻木頼保は大仏殿の完成を目前にして奈良で病死します。

妻木下郷の村方文書には、妻木頼保の眠る奈良の法林寺への燈明料などの記録が残っています。また領主が大仏殿再建工事の責任者であったことから領内からも相当の浄財が集められたことと考えられます。そして完成したときの村人達の心情はどんなものであったでしょうか。当時の史料を探してみると面白いかもしれません。

### 妻木頼黄のこと

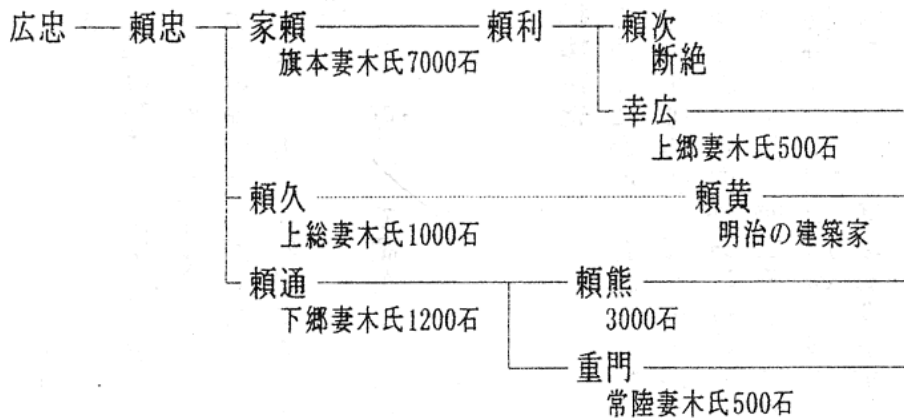
明治の大修理にも妻木氏の一族である妻木頼黄が関係しています。妻木頼黄は上総妻木氏千石（上総下総の内）の家に生まれました。父は上郷妻木氏五百石（妻木村上郷）より養子に入った人物です。妻木頼黄は建築家として著名な人物です。明治二十四年には大仏殿の大修理を担当しました。

### 参考文献

- 平岡定海著「東大寺辞典」
- 同著「日本寺院史の研究中世近世編」
- 寛政重修諸家譜
- 高遠町史



### 近世妻木氏の系図(寛政家譜)



史料紹介

次号より基本史料となる古文書を紹介いたします。  
土岐明智氏妻木氏に関する文書は、次のものがあります。

土岐文書 土岐實光氏所蔵

現在群馬県立博物館に寄託されており総数二千点

室町時代初期の土岐明智氏の文書から近世大名土岐氏に至るまでの膨大な文書があります。

日東文書 日東信之氏蔵

天正から江戸初期の妻木氏の文書や上郷妻木氏の文書があります。

八幡神社文書 妻木八幡神社蔵

江戸初期の妻木氏の祈願文、検地帳などがあります。

妻木城主と古田織部

土岐市ふるさと祭の一環としてパネル展示を行います。美濃焼を育てた領主である妻木城主と、武人であり茶人であった古田織部の関係を史料から探ってゆきます。ぜひご来場下さい。

期日 八月四日(日)  
会場 セラトピア土岐

「妻木の文化財展」の日程決まる

妻木町公民館祭りの一環として文化財展を開催します。妻木町には妻木城主縁の文化財が多数残されています。日頃展覧出来ない文化財を広く公開し、文化財保護の認識を深めていただきたいと思います。

期日 十一月三日(日)  
会場 妻木小学校・八幡神社

崇禅寺・妻木城跡など  
詳細は機関誌「乙姫城」でお知らせ

いたします。

また、絵はがき「歴史の町 妻木」はお手元に届いていますでしょうか。会員の方には無料で一部配布しております。まだの方は事務局までご連絡下さい。  
また、一部五百円にて頒布しております。

編集後記

五月の連休に岩村を訪ねました。城跡と古い町並みには多くの人が訪れていました。東濃地方には苗木、岩村、明智、小里、兼山そして妻木など戦国時代から関ヶ原の合戦にかけて登場する山城が多数あります。郷土の歴史遺産を守りつつ点から線へと結んだ歴史散策コースが出来たらと思います。

今回の特集は、奈良奉行妻木頼保でした。如何でしたでしょうか。